

資料No.2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和4年度 第4回)

(再評価)

資料No	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要	審議区分
3	道路事業	一般国道9号 京都西立体交差	H29	④	<p>●概要：京都西立体交差事業は、国道9号京都市西部において、交通混雑の著しい千代原口地区と葛野地区の、交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長3.8kmの立体交差事業である。</p> <p>●事業化年度：平成11年度</p> <p>●全体事業費：321億円</p> <p>●事業の進捗：約77%(令和4年3月末)</p> <p>●今後の予定：早期の供用を目指す。</p>	重点
4	道路事業	一般国道312号 大宮峰山道路	H29	④	<p>●概要：大宮峰山道路は、山陰近畿自動車道の一部を形成し、並行する国道312号のバイパスとして、災害に強い道路ネットワークの形成、交通混雑の緩和や救急医療の搬送時間短縮に寄与するほか、丹後地域沿岸部の観光施設へのアクセス性向上による観光産業の活性化を目的とした延長5.0kmの道路である。</p> <p>●事業化年度：平成27年度</p> <p>●全体事業費：160億円</p> <p>●事業の進捗：約27%(令和4年3月末)</p> <p>●今後の予定：早期の供用を目指す。</p>	重点
5	道路事業	一般国道161号 小松拡幅	R2	⑥	<p>●概要：小松拡幅は、琵琶湖西縦貫道路の一部として湖西地域の幹線道路のネットワークを強化するとともに、国道161号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援を目的とした延長6.5kmの道路である。</p> <p>●事業化年度：昭和45年度</p> <p>●全体事業費：240億円</p> <p>●事業の進捗：約63%(令和4年3月末)</p> <p>●今後の予定：早期の供用を目指す。</p>	重点
		一般国道161号 湖北バイパス	R2	⑥	<p>●概要：湖北バイパスは、琵琶湖西縦貫道路の一部として湖西地域の幹線道路のネットワークを強化するとともに、国道161号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援を目的とした延長10.8kmの道路である。</p> <p>●事業化年度：昭和48年度</p> <p>●全体事業費：300億円</p> <p>●事業の進捗：約73%(令和4年3月末)</p> <p>●今後の予定：早期の供用を目指す。</p>	
		一般国道161号 湖西道路 (真野～坂本北)	R2	⑤	<p>●概要：湖西道路は、琵琶湖西縦貫道路の一部として湖西地域の幹線道路のネットワークを強化するとともに、国道161号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援を目的とした延長6.6kmの道路である。</p> <p>●事業化年度：平成27年度</p> <p>●全体事業費：160億円</p> <p>●事業の進捗：約73%(令和4年3月末)</p> <p>●今後の予定：早期の供用を目指す。</p>	
6	海岸事業	東播海岸直轄海岸 保全施設整備事業	R1	⑤	<p>●概要：直轄事業として侵食被害、浸水被害及び交通遮断被害の防止を目的に海岸保全施設を整備し、海岸保全の向上を図る。</p> <p>●事業化年度：昭和36年度</p> <p>●全体事業費：約234億円</p> <p>●事業の進捗：約92%</p> <p>●今後の予定：狛口地区、塩屋東地区の護岸整備等の整備進捗を図る。</p>	重点

[再評価理由]

- ①：事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②：事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③：準備・計画段階で3年間が経過している事業
- ④：再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤：社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥：道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

資料No.2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和4年度 第4回)

(再評価)						
資料No	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要	審議区分
7	港湾事業	和歌山下津港北港地区 エネルギー港湾整備事業	R2	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：紀北地域のエネルギー・物流拠点となる和歌山下津港北港地区の出入港船舶の安全確保と荷役効率の向上、港内静穏度の向上を目的とした防波堤などの港湾施設を整備する。 ●事業化年度：平成11年度 ●全体事業費：303億円 ●事業の進捗：73% ●今後の予定：和歌山火力発電所の建設着手にあわせて、防波堤整備の進捗を図る。 	重点
8	河川事業	大和川直轄河川 改修事業	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：大和川水系河川整備計画に基づき、戦後最大の被害をもたらした昭和57年8月洪水を目標（柏原地点2,800m³/s）とし、上下流バランスを確保しつつ、流域全体の治水安全度を向上させる河道改修を実施し、流下能力を確保する。下流部で河道掘削、築堤を実施するとともに、特に、治水安全度の低い佐保川において、中流部の遊水地整備と合わせて、河道掘削や築堤を実施する。また、下流部において人口が集中した地域で、堤防が決壊すると甚大な人的被害が発生する可能性が高い区間を対象に高規格堤防を整備する。 ●事業化年度：平成25年度（大和川水系河川整備計画：平成25年11月策定） ●全体事業費：1,458億円 ●事業の進捗：約44% ●今後の予定：中流部および上流部佐保川の改修、遊水地の整備等を順次実施する。 	一括
9	河川事業	紀の川総合水系 環境整備事業	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：和歌山市内河川の水質環境基準を達成させるため、紀の川から有本川への導水を継続するとともに、現在、環境基準が未達成である大門川への導水を実施する。 ●事業化年度：昭和54年度 ●全体事業費：96億円 ●事業の進捗：78% ●今後の予定：事業の着実な進捗を図る。 	一括
10	河川事業	淀川総合水系 環境整備事業	R2	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：淀川水系において水質の改善、良好な生物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生及び、地域と連携した水辺整備による河川利用の推進するもの。 ●事業化年度：平成元年度 ●全体事業費：429億円 ●事業の進捗：約55% ●今後の予定：令和25年度に事業完了予定。 	一括
11	公園事業	淀川河川公園	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：淀川の広大な河川敷と豊かな自然環境を活用し、近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対処するために設置されたイ号国営公園である。 ●事業化年度：昭和47年度 ●全体事業費：約418億円 ●事業の進捗：約66% ●今後の予定：早期の全面開園を目指す。 	一括

〔再評価理由〕

- ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥: 道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

事業評価対象事業の位置図

